



未来を生き抜く力～学校教育の充実～

重点1「小中一貫教育を通じた資質・能力の育成」

・りしりふじ小中一貫教育の導入

義務教育9年間を見通したためさすべき子ども像を掲げ、小中一貫した教育課程について編成可能とした。地域への説明や理解を促進し、全道規模の連携事業への参加や視察などを実施。

鬼脇地区（施設一体型）は、小中相互の活動や日課調整、乗り入れ授業を、駕泊地区（施設隣接型）は、教員同士の連携交流会や研修会、運動会の同日開催・相互協力、小中相互の乗り入れ授業、小学校高学年を対象とした中学校での英語授業の実施。

学力の積み上げの一助として各種検定受検助成を継続。

重点2「ICTを活用した学びの実現」

・学校デジタル化推進協議会の活動促進
各校で抱える課題についてICTリテラシー相談会を実施し、研修につながる課題を整理。

・ICT機器・教材の活用と促進

英語×ICT教育のための電子黒板の整備やAI教材アプリ「キュービナ」の継続的な活用、デジタル教科書実証事業などを実施。



重点3「学習環境の整備と支援教育の推進」

・防災や防犯、交通安全教育の実施

関係機関等と連携した1日防災学校や登下校時の安全確保、安心安全メールを活用した情報発信を実施。

・いじめ防止の取組と児童生徒に対する各種支援

道徳授業やスクールカウンセラー派遣事業の実施。学校トイレへの生理用品の設置。

・教職員の資質・能力の向上と環境整備

校務支援システム、学校閉庁日の継続。教職員住宅の新築、補修。アクション・プランⅢの策定。

・健やかな体の育成と体力、運動能力の向上

・特別支援教育の充実

支援員の配置、パートナーティーチャーの活用。関係機関同士の情報共有と協議の充実。

・保護者等への教育支援

特別支援学校等通学費助成制度の充実。学校給食費の無償化。

・利尻高校への支援

ふるさと教育や総合的な探究、中高連携協議会への支援。

心豊かな人づくり～社会教育と生涯学習の充実～

重点1「施設の利活用と団体・個人への支援」

・スポーツ・文化活動の推進

個々の団体、個人への支援や相談体制を整え、地域づくりの担い手を発掘。従前のイベントや教室については、見直しやあり方を検討。

重点2「地域と学校をつなぐ支援活動等の推進」

・青少年の健全育成

町民会議や放課後子ども教室、ふるさと教育の推進。事業や教室運営のあり方についての検討。

・学校運営協議会の取組と体制の推進

学校要望に応じた講師・ボランティア派遣の充実化。部活動の地域移行についての協議開始。

・学校等と連携した読書活動の推進

重点3「地域の文化財保護活動の推進」

郷土資料の収集、保存、継承。資料のデジタル化やレファレンス対応の充実。

大学と連携した遺跡調査・研究、普及活動の実施。

教育委員会の活動状況

・会議の状況、規則等の制定

定例会8回開催。規則・訓令各2件。

・学校訪問等

